

町民の声

子供は町の宝

松前町徳丸 山内菊由

早朝犬と散歩中「おはようございます」と大きな気持ちの良い声がかかる。北伊予小学校へ登校する可愛い児童たちです。こちらからは「おはよう」と声が出る。顔を合わすと必ず声をかけてくれる児童たちを見るにつけ、子どもは国の宝の実感がします。

少子高齢化が言われだして久しい我が松前町にも子どもの声が聞こえなくなってきた地域ができました。「教育の町 松前町」も肝心の子どもがいなくなつては、高齢者を教育するしか方法がないかもしれない。今更何を？ 子どもを増やす方法を。

戦後の厳しく苦しい時代を必死に働いて子どもを育て上げた皆さんに、今一度思い出してもらおう。時代が違つと諦めないで、一世帯・

三世帯が一緒に住める環境づくりができないだろうか？

松前町の農業経営者で家族経営協定調印式のお話がありました。お手本になると思います。

学校校舎の耐震化工事を進める予定と聞いております。

早めの対策が望まれていました。いつ起こるかも知れない地震を、予算が付かないからでは何処かの国みために後悔することとなりませんでしょうか。

災害の少ない町、松前町。どこかに落とし穴がありませんでしょうか。要望の声の高低・大小だけでない優先順位をつけた町政をお願いします。

傍聴席

町議会を傍聴して

S・I

2009年6月22日(月)9時45分から議会の傍聴に行きました。ちょうど藤岡議員の一般質問が始まったと

ころでした。

ふるさと納税についてとか、裁判員制度がスタートした松前町では学校教育でどのように取り組んでいるかなど適切な応答がなされていきました。

私は社会の変化を捉えて松前町ではどのように取り組むか、また取り組んでいるかがよく分かり傍聴できて良かったと思います。

特にマイバッグ持参運動に取り組んできた成果がレジ袋32%削減できたという事は石油に換算すると約4万7千4百円削減できました。というふうに分かりやすく答弁していたのが印象的でした。

数年前の傍聴と比較すると議員の数が減っている分、一人一人の議員さんが頑張っているように感じました。傍聴する側も人数が多くなつてマナーも良くなつてきたように思います。気負わないで時間が合えばまた傍聴したいと思いました。

町民の声の原稿をお寄せ下さい

町政や議会、本誌に対するご意見・ご要望などをどしどしお寄せ下さい。(500字程度)

宛先

松前町筒井 631
議会広報編集特別委員会
町民の声
FAX 985-4148
E-mail
500gikai@town.masaki.ehime.jp

本会議会 傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけでどなたでも自由にできます。

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。傍聴の手続きは、議会事務局(庁舎5階)で住所・氏名・年齢を書くだけの簡単なものです。多くのみなさんの傍聴をお待ちしています。

(今回は9月上旬中旬の予定です。)

